

I 研究方針

国や道の森林・林業・木材産業に関する施策

我が国では、令和3年6月に「森林・林業基本計画」が改定されました。この計画では、林業・木材産業の持続性向上と成長発展を図り、これを通じて森林の多面的機能を発揮させることにより、社会経済生活の向上とカーボンニュートラルへの寄与を果たすことが基本方針となっており、本方針のもと「森林資源の適正な管理・利用」「林業イノベーションの展開」「木材産業の競争力強化」「都市等における“第2の森林”づくり」等の施策が展開されています。

また、北海道では、百年先を見据えた森林づくりを進めるための「北海道森林づくり基本計画」が、令和4年3月に策定されました。この計画では、森林資源の「循環利用」と「木育」の2項目を一層推進していくことが施策の基本となっています。その上で、本道の林業・木材産業が直面する課題を解決するために、「ゼロカーボン北海道の実現に向けた活力ある森林づくり」「広葉樹資源の育成・有効利用」「道産トドマツ建築材の安定供給体制の強化」「スマート林業による効率的な施業の推進」「HOKKAIDO WOOD ブランドの浸透による道産木材の需要拡大」など、7つの重点的な取り組みが設定されています。

林業試験場の研究方針

林業試験場では、地方独立行政法人北海道立総合研究機構（以下、道総研）が策定する第3期中期計画に基づき、以下の研究推進項目（◎で示す2つの大項目と①～⑤の小項目）に沿って研究を進めています。

- ◎ 森林資源の循環利用による林業及び木材産業の健全な発展
 - ① 森林資源の適切な管理と木材の生産・流通の効率化のための研究開発
- ◎ 森林の多面的機能の持続的な発揮
 - ② 森林の多面的機能の発揮と樹木・特用林産物の活用のための研究開発
 - ③ 地域・集落を維持・活性化するための地域システムの研究開発
 - ④ 災害発生後の応急対策及び復興対策手法の開発
 - ⑤ 災害の被害軽減と防災対策手法の開発